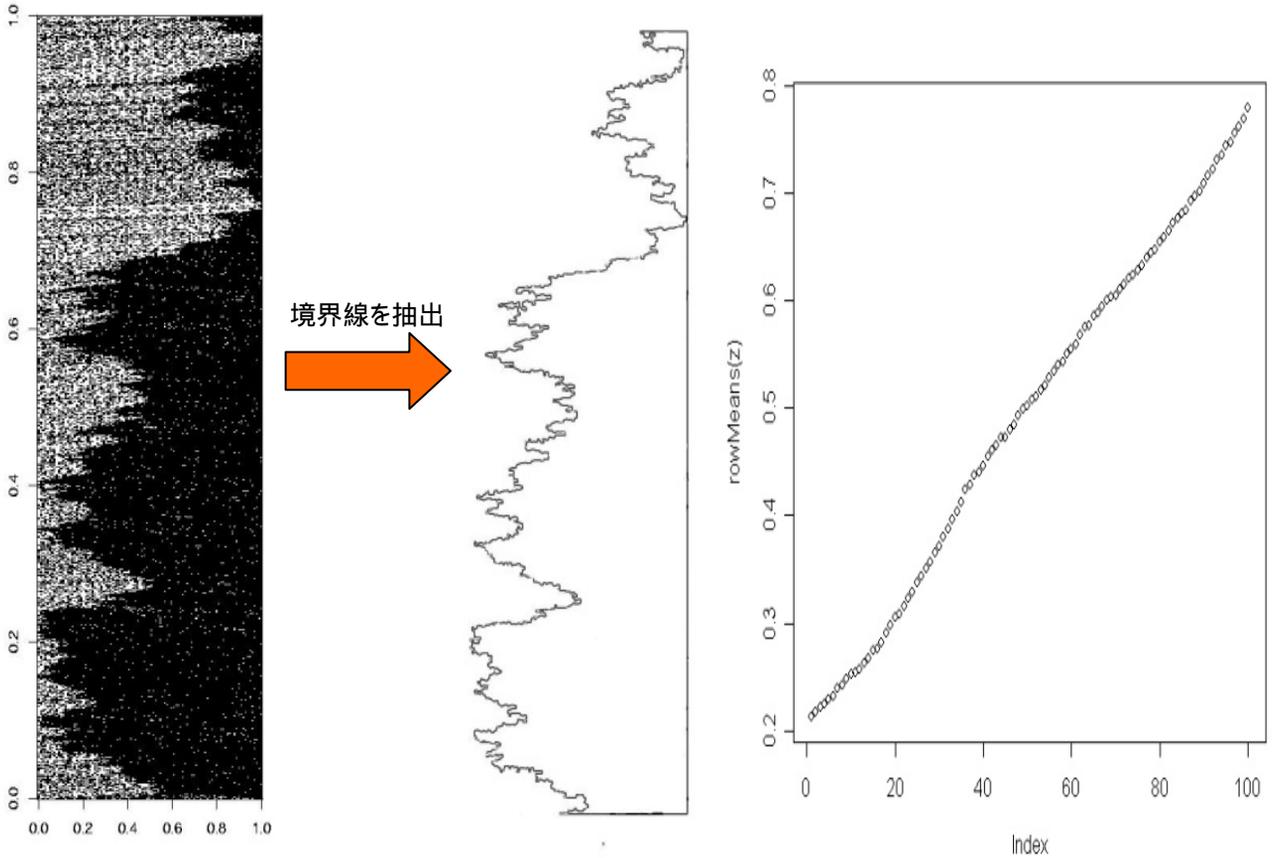


境界線の揺らぎ



(d)と、を同じ条件でSTEP数を増やすと左図が得られる。
黒い部分が渋滞部分、白い部分が空いている部分であるが、長期的に見ると、その境目(以下境界線)が非常に揺らいでいることが良く分かる。

境界線のみを見てみると、線が揺らいでいて、その揺らぎはブラウン運動やベッセル関数で表す事が出来るかもしれない。この事が今後の研究内容である。

右図の密度を見てみると(d)の密度はサイト数と比例している事が見て取れる。
短期的な密度の平均と長期的な密度と同じ比例関係になるかどうかは今後の研究課題である。